

# 高校第2学年地理歴史科学習指導案

期 日：2024年11月19日（火）

時 間：第5校時

対 象：第2学年C組28名

学校名：清心女子高等学校

授業者：松本 浩和

## 1. 単元（題材）名 「資源・エネルギー問題」

## 2. 単元（題材）の目標

- (1) 資源をとりまく世界の現状について理解し、安全に平和に利用するための方策を考える。
- (2) 各国のエネルギー事情や海外からの輸出入などさまざまな資料を用いて、理想的な電力のバランスについて考える。
- (3) 環境問題、人口問題、民族問題などの地球的諸課題と関連することに気づき、これらの問題に「自分ごと」として積極的に考える姿勢を身につける。

## 3. 単元（題材）の評価基準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
現在、地球上で起こる諸課題について、その原因と結果、解決に向けての具体的な取り組みについて理解する。	多くの資料やデータを分析し、多角的に諸問題について考察することができる。	地球的課題の解決に向けて取り組みを「自分ごと」として捉え、自分なりの提言をまとめ伝えることができる。

## 4. 指導観

### (1) 単元観

本単元は、「地理総合」（2単位）の学習内容のうち、資源・エネルギー問題について扱っている。現在多くが消費されている化石燃料は、枯渇性エネルギーであるとともに、地球温暖化などの環境問題にもかかわっている。一方、再生可能エネルギーはクリーンであるものの、高価であり技術面でも不十分な面があり、現状では国民が必要とするエネルギーを賄える量を確保できていない。今回は発電をテーマに、各発電方法のメリット、デメリットや、各国の発電事情などを考慮し「持続可能な開発」をめざすための電力バランスを生徒に考えさせたい。

### (2) 教材観

教科書及び地区帳に掲載されている資料を活用するとともに、必要に応じてプリントにして補助資料を提示することで、多角的な視点で思考できるようにする。また、経済産業省資源・エネルギー庁の資料及び教材を使用し、資源・エネルギーの問題に主体的に取り組むための材料とする。

### (3) 生徒観

対象クラスは、特別進学コース文理総合系に所属する生徒である。私立大学のいわゆる文系の学科への進学をめざし総合型選抜、学校推薦型選抜入試での大学進学を志す生徒が大半である。定期テストに向けて授業中心に学習に取り組んでおり、まじめに授業を聞いたり板書をとるなどできる生徒が大半である。教員の問いかけに対する反応もよく、明るい雰囲気の中で授業が展開されるクラスである。生徒の主体的な活動を取り入れることで、地球全体で考えるべき諸問題を「自分ごと」として考える機会としたい。

## 5. 年間指導計画における位置付け

高校2年生 地理総合（2単位）

学期	1 学期	2 学期	3 学期
単元（題材）名	地図や地理情報システムでとらえる現代社会	国際理解と国際協力	持続可能な地域づくりと私たち
主な内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私たちが暮らす世界</li> <li>・地図や地理情報システム</li> <li>・資料から読み取る現代社会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人々の生活文化と多様な地理的環境</li> <li>・さまざまな地球的課題と国際協力（本単元）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然環境と防災</li> <li>・生活圏の調査と地域の展望</li> </ul>

## 6. 単元の指導計画（全3時間扱い）

	★目標 ○学習内容・学習活動	■評価規準（評価方法）
第1時	★資源・エネルギーの生産と消費の現状と歴史を知る。 ○資源をめぐる国家間の対立の歴史を理解する。（知識・理解）	■資源・エネルギー問題の現状と歴史を理解できている。
第2時	★発電の種類と特徴を理解し、電力バランスについて考える ○発電の種類とそれぞれのメリット・デメリットを理解する。（知識・理解） ○電力バランスゲームを行い、電力を需要と供給の両面から考える。（思考・判断・表現）	■各発電のメリット、デメリットを正しく理解できている。 ■電気の供給面だけでなく、需要面からも考えることができる。
第3時 本時	★「持続可能な社会の実現」のための電力バランスについて考える ○各発電のメリット・デメリットをふまえた上で、理想の電力バランスを話し合う。（思考・判断・表現） ○ワールドカフェ方式で他の班に自分の意見を伝えるとともに、共有した意見をもとに自分の意見を再構築する。（思考・判断・表現）（主体的態度）	■話し合いに積極的に参加している。 ■自分の意見だけでなく、他の意見にも耳を傾けることができている。 ■資源・エネルギーの問題を「自分ごと」として考えられている。

## 7. 指導にあたって

### (1) 論理的思考（ロジカル・シンキング）

各発電方法の特徴を理解したうえで、理想の発電バランスを環境面や消費量、資源の確保の状況などをふまえて論理的に考えることができる。

### (2) 批判的思考（クリティカル・シンキング）

再生可能エネルギーを含めた各発電方法のメリットだけでなくデメリットについても注目することで、環境問題と持続可能な社会の実現の両立を視野に入れた考えができる。

### (3) 水平思考（ラテラル・シンキング）

各発電方法のメリット、デメリットやそれぞれの国の発電バランスと政策を理解したうえで、今後の持続可能な社会を形成するための発電のあり方について自らが考えることができる。

8. 本時の計画（全3時間中の3時間目）

(1) 本時の目標

- ①理想の電力バランスを考える活動を通して、環境保護と持続可能な社会の両立について考える。
- ②資源・エネルギー問題に対して、他者の意見も尊重しつつ自分の意見を表明することができる。
- ③地球規模の問題に対して、主体的に関わろうとする態度を養う。

(2) 本時の展開

時間	○学習内容 ・学習活動	指導上の留意点	■評価規準（評価方法）
導入 (5分)	○前時の学習内容をふりかえり、 本時の学習内容を確認する。	・前時の「バランスゲーム」で 電力の需給をそろえることが ポイントであったことを確認 させる。	■意欲的に学習に取り組もうとして いるか。（態度）
展開 (35分)	○さまざまな発電方法とそのメリ ット・デメリットを確認する。 （5分） ・主要国の発電バランスについて も確認する。  ○理想の発電バランスを班で話し 合う。（10分） ・自分たちの発電バランスのメリ ット、デメリットを話し合い、 シートに記入する。  ○ワールドカフェ方式で他の班の メンバーと意見を共有する。 （5分×2回） ・新たな班のメンバーで、自分た ちの考えを発表しあう。 ・他の班の考えを聞き記録する。  ○自分の班に戻り、共有した意見 をもとに再度発電バランスを検 討する。（10分）	・パワーポイントを使用し、要点 を簡潔に説明する。  ・話し合いがスムーズに進んでい るか机間指導で確認する。 ・意見が出ていない班には助言を 行う。  ・自分の意見を他の班の人に説明 できているか、他の人の意見を きちんと記入できているかを机 間指導で確認する。  ・多くの意見をふまえた上で自分 の考えをまとめるよう注意を促 す。	■各発電方法のメリット、デメリッ トを理解できているか。 （知識・理解）  ■各発電の特徴や需給をふまえて、 多角的に考えているか。 （思考・判断） ■話し合いに積極的に参加してい るか。（態度）  ■自分の意見を他の人に正しく伝え られているか。（表現） ■他の人の意見に耳を傾けている か。（思考・判断）  ■共有した意見をふまえて自分の考 えを構築することができている か。（思考・判断・表現）
まとめ (5分)	○これからのエネルギー問題につ いて考える。（5分）	・電力バランスを考えることで、 資源・エネルギー問題が自分に 関わっている問題であることを 再認識させる。	■資源・エネルギー問題を、自分ご ととらえて考えることができて いるか。（態度）